

排出事業者のための有益情報満載ニュースレター

WASTE TODAY

7月号
2021

2021.7.27

発行者：株式会社リーテム

✓ 今月のテーマ 「持続可能なオリンピック・パラリンピック」

連日、白熱した競技が繰り広げられている東京2020オリンピック・パラリンピック。新型コロナウイルスの影響による開催時期の延期や、無観客開催、来日した競技者の感染、一部の準備メンバーの解任等々、過去のオリンピックには無い事態が次々と起き、国民の関心を集めています。それらの話題に埋もれているように見える東京2020大会の持続可能な取組みを紹介します。



🗨️ スポーツイベントに持続可能性？

過去に、オリンピック・パラリンピックの会場跡地を有効利用できなかつたり、大会期間中に選手村や観客から出るゴミが問題となったことをきっかけに、開催国だけでなく世界各国から集まる選手団や観客は、エネルギーや資源を有効に使い、大会終了後に地球に負担をかけることのない「持続可能なスポーツイベント」への変革を求められるようになりました。

2012年に開かれたロンドン大会はこの社会的要請に積極的に取り組み、「史上最も持続可能なオリンピック・パラリンピック」であると評価されています。「環境に配慮した競技場」として有名となったのは、自転車競技場です。自転車が走るトラックや建築部材に、FSC認証の木材（Forest Stewardship Council = 森林管理協議会が森林の環境保全が行われていると認定した木材）が使われました。また照明には自然の太陽光を取入れ、雨水を溜めてトイレで使う水の量を減らす等の工夫がされました。環境保全団体であるWWFをはじめとするNGOや専門家達が加わった「持続可能なロンドン2012委員会」という第三者委員会を設置し、大会の持続可能性を独立した立場でチェックしたことが成功要因の一つと言われます。



2012ロンドンオリンピックの自転車競技場「ベロドローム」

🗨️ 東京2020大会の主要テーマとSDGs

東京2020大会では、スポーツイベントの持続可能性を環境面や社会面でさらに追及しています。

2015年に国連が定めた持続可能な17の開発目標（SDGs）は、資源、エネルギー、生物多様性、気候変動、人権、平和、貧困、食品ロス等の多くの社会問題の解決を目的にしています。

国際的なスポーツイベントには、発信力のあるアスリートや多くのファン、大会関係者、視聴者を通じて、SDGsが提示するさまざまな問題への気づきを社会に促す力があるという考え方から、東京2020大会では、「Be better, together/より良い未来へともに進もう」というスローガンのもと、幅広い社会問題を捉えた5つのテーマを定めています。

SDGs
持続可能な開発目標17



東京2020大会



株式会社リーテム

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-15-2 新神田ビル7 F
TEL. 03-5256-7041 Mail. info@re-tem.com <https://www.re-tem.com/>

東京2020大会の持続可能な取組みの例

持続可能な東京2020オリンピック・パラリンピックのための具体的な取組みの一部をご紹介します。

<p>再生可能エネルギー電力</p> <p>競技会場、選手村、国際放送センター/メインプレスセンターで、再生可能エネルギーを100%使用</p> 	<p>低公害・低燃費車両</p> <p>燃料電池自動車約500台、電気自動車約850台等低公害・低燃費車両を導入</p> 	<p>水資源の循環</p> <p>競技会場にろ過施設を設置して水資源を有効利用</p> 
<p>都市鉱山から作ったメダル</p> <p>約5,000個のメダルに、使用済み小型家電からリサイクルした金属を利用</p> 	<p>聖火リレーのトーチ</p> <p>聖火リレーのトーチに東日本大震災の復興仮設住宅のアルミを再生利用</p> 	<p>エコ素材のユニフォーム</p> <p>スタッフのユニフォームに再生ポリエステル材や植物由来材を使用</p> 
<p>廃プラで作った表彰台</p> <p>2,000店舗以上の店頭に設置した回収箱で集めた廃プラスチックを利用して表彰台約100台を製造</p> 	<p>国産木材の活用リレー</p> <p>63自治体から借り受けた木材で、選手村の施設を建設し、大会後に木材を各地で再利用</p> 	<p>競技施設周辺の生物環境</p> <p>既存の緑との連続性を踏まえ、気候や風土に適した樹種等により競技会場を新たに緑化</p> 
<p>物品のリユース・リサイクル</p> <p>大会後に、調達物品をレンタル、リース、再販することで99%リユース・リサイクル</p> 	<p>エンカルな食材の調達</p> <p>選手村等の飲食提供に、GAP*認証品や水産エコラベル認証品など持続可能な食材を使用</p> 	<p>エンカルな木材の調達</p> <p>会場整備に、森林認証材等の持続可能な木材を使用</p> 

※GAPとは食品安全、環境保全、労働安全等を確保した農業生産工程管理の認証のこと

編集後記

弊社リーテムは「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に事務局の一社として参加し、全国で回収した使用済み小型家電から、メダルに利用するための金銀銅原料を作るプロセスに貢献しました。東京2020大会の誘致の際、日本は2016年のロンドン大会を超える持続可能なオリンピック・パラリンピックを目指す約束したそうです。ご紹介した取り組みも含めて今大会の持続可能性について国際社会からどのような評価を受けるのか関心のあるところです。



コラムの更新やサービスに関するお役立ち情報をお知らせするメールマガジン（月1回程度）を発信しています。配信希望の方は以下の「お問い合わせ」をクリック！項目から「メールマガジン配信希望」を選んでください。

<https://www.re-tem.com/contact/>



株式会社リーテム

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-15-2 新神田ビル7 F
TEL. 03-5256-7041 Mail. info@re-tem.com <https://www.re-tem.com/>